

# 総合効率化計画の概要

(平成17年度認定事案)

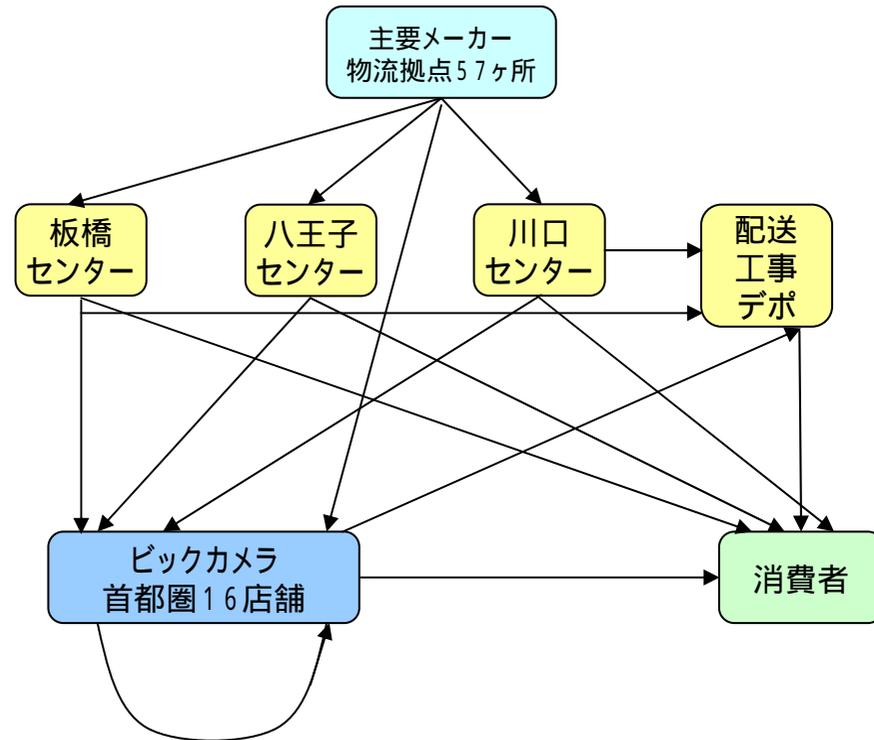
政策統括官付 参事官(物流施設)室

# 目次

(株)ジェービーエス	1	矢崎総業(株)	14
(株)ビックカメラ		翔運輸(株)	
澁澤倉庫(株)	2	福玉(株)	15
澁澤陸運(株)		三ツ井運輸(株)	
東京団地倉庫(株)	3	(株)ロジックス	16
櫻井倉庫(株)		小出運送(株)	
東京団地倉庫(株)	4	三菱倉庫(株)	18
矢倉倉庫(株)		菱倉運輸(株)	
大東倉庫(株)		アートバンライン(株)	20
東京団地倉庫(株)	5	三井倉庫(株)	22
醍醐倉庫(株)		(株)サン・トランスポート	
醍醐運輸(株)		(有)滋賀鶴見運送	23
日本通運(株)	6	センコー(株)	24
日本自動車ターミナル(株)		(株)九州丸和ロジスティクス	25
安田倉庫(株)	7	(株)キョーワ	
安田運輸(株)			
(株)ヒューテックノオリン	8		
(株)第二西北紙流通デポ	9		
(株)竹尾			
宝運輸(株)			
東部運送(株)	10		
中越通運(株)	12		

(株)ジェービーエス・(株)ビックカメラ  
総合効率化計画の概要

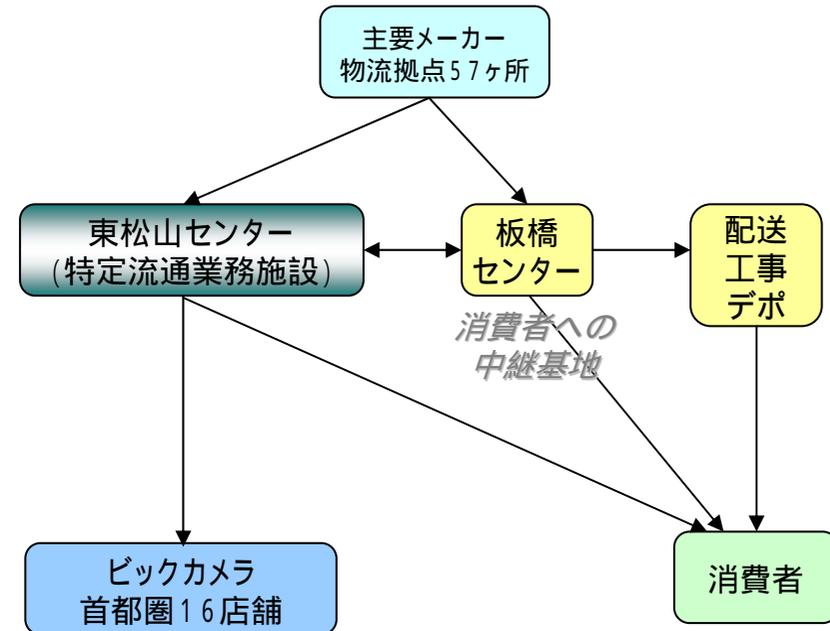
現行



(現行の物流による課題)

- ・既存センターの在庫能力不足
- ・商品群毎の在庫管理
- ・首都圏店舗の代用倉庫化
- ・錯綜した輸送網
- ・店舗間振替輸送
- ・混雑する駅前店舗への貨物車両の乗り入れ など

計画

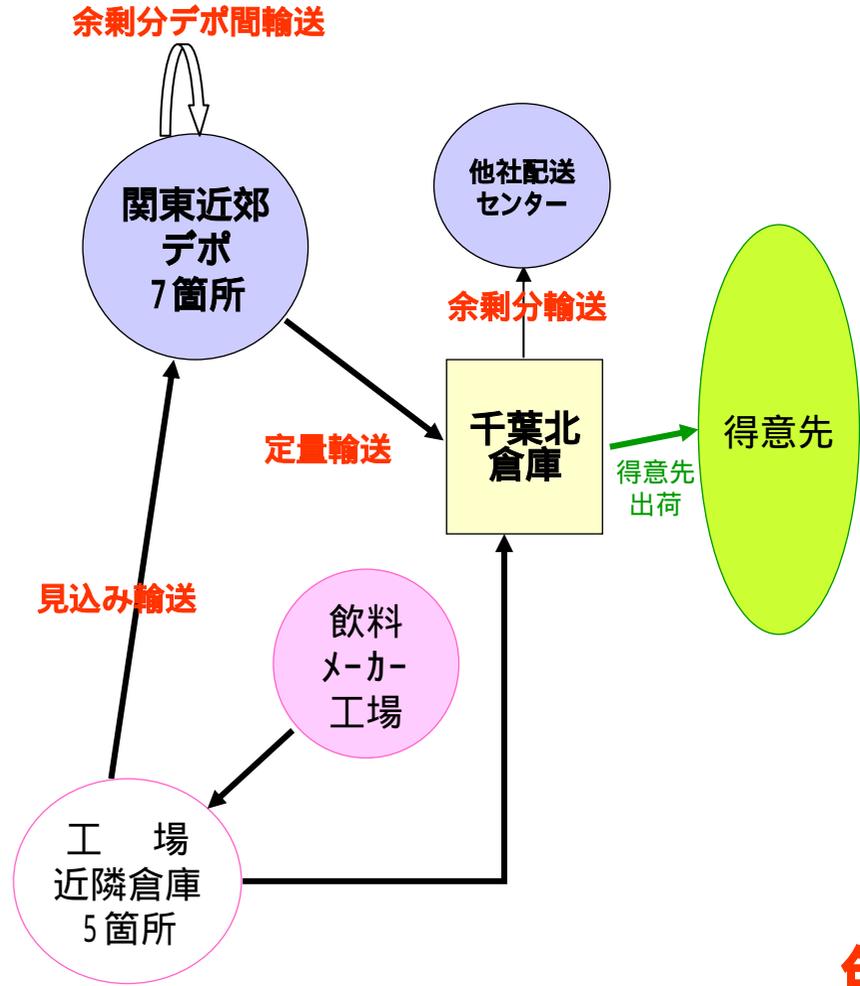


(総合効率化計画による効果)

- ・商品の一括管理
- ・物流の最適、最小化
- ・店舗のウィンドーショップ化
- ・混雑する駅前の交通渋滞緩和
- ・CO2削減(目標約21%)

澁澤倉庫(株)・澁澤陸運(株)  
総合効率化計画の概要

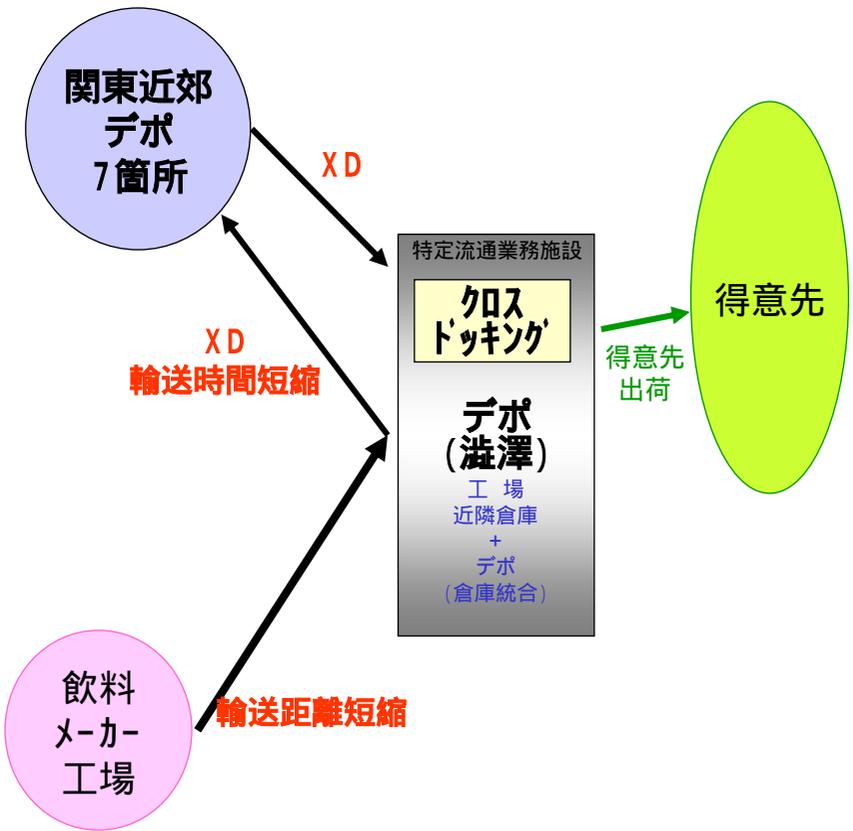
現行



(課題)

- ・近隣倉庫を経由することによる非効率な輸配送
- ・見込み輸送による余剰分輸送
- ・定量輸送及び出荷量の変更による余剰分輸送

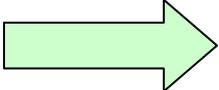
計画



(計画の効果)

- ・近隣倉庫の新倉庫集約による輸送距離の短縮
- ・新倉庫の立地条件による輸送時間の短縮
- ・新倉庫増設によるクロスドッキング形式の輸配送
- ・CO2削減(目標約17%)

解消



## 東京団地倉庫(株)・櫻井倉庫(株) 総合効率化計画の概要

現行



(現行の物流による課題)

- ・大型車での搬入等に制限
- ・少ない保管スペース

計画



(総合効率化計画による効果)

- ・大型車での搬入可能
- ・保管スペース等の拡大
- ・荷さばきの合理化を図る設備及び情報処理システムの活用による物流品質の改善
- ・CO<sub>2</sub>削減(目標約29%)

東京団地倉庫(株)・矢倉倉庫(株)・大東倉庫(株)  
総合効率化計画の概要

現行



(現行の物流による課題)

- ・大型車での搬入等に制限
- ・点在する拠点

計画



(総合効率化計画による効果)

- ・大型車での搬入可能
- ・拠点の集約による輸送網の合理化
- ・共同配送による輸送の効率化
- ・荷さばきの合理化を図る設備及び情報処理システムの活用による物流品質の改善
- ・CO2削減(目標約21%)

東京団地倉庫(株)・醍醐倉庫(株)・醍醐運輸(株)  
総合効率化計画の概要

現行



(現行の物流による課題)

- ・大型車での搬入等に制限
- ・点在する拠点

計画

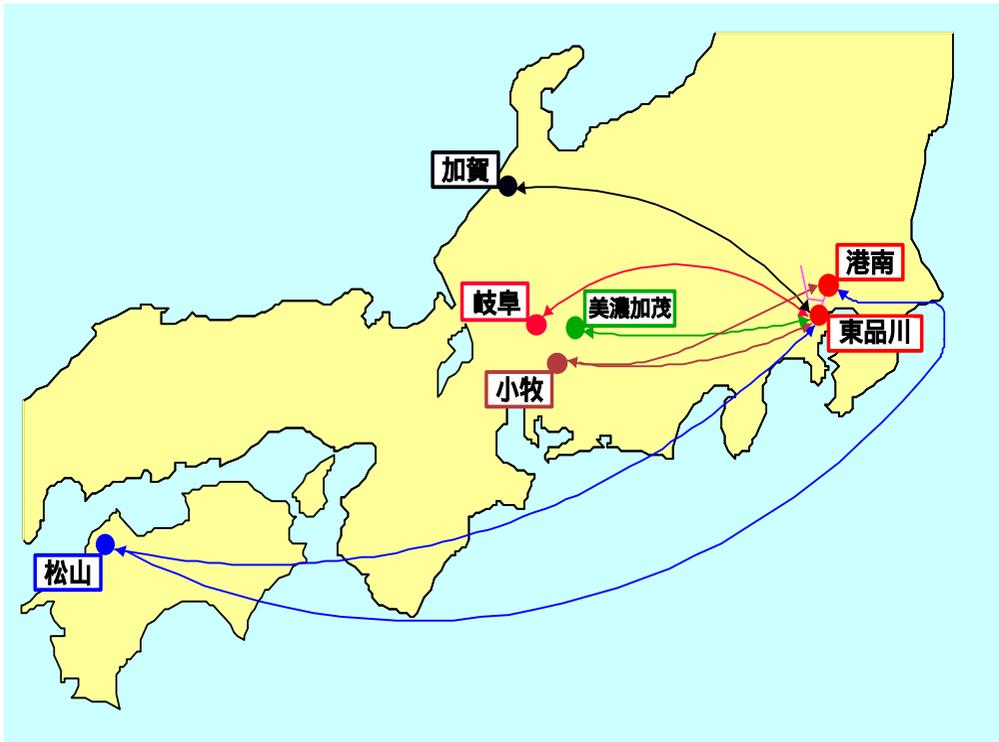


(総合効率化計画による効果)

- ・大型車での搬入可能
- ・拠点の集約による輸送網の合理化
- ・荷さばきの合理化を図る設備及び情報処理システムの活用による物流品質の改善
- ・CO<sub>2</sub>削減(目標約22%)

日本通運(株)・日本自動車ターミナル(株)  
総合効率化計画の概要

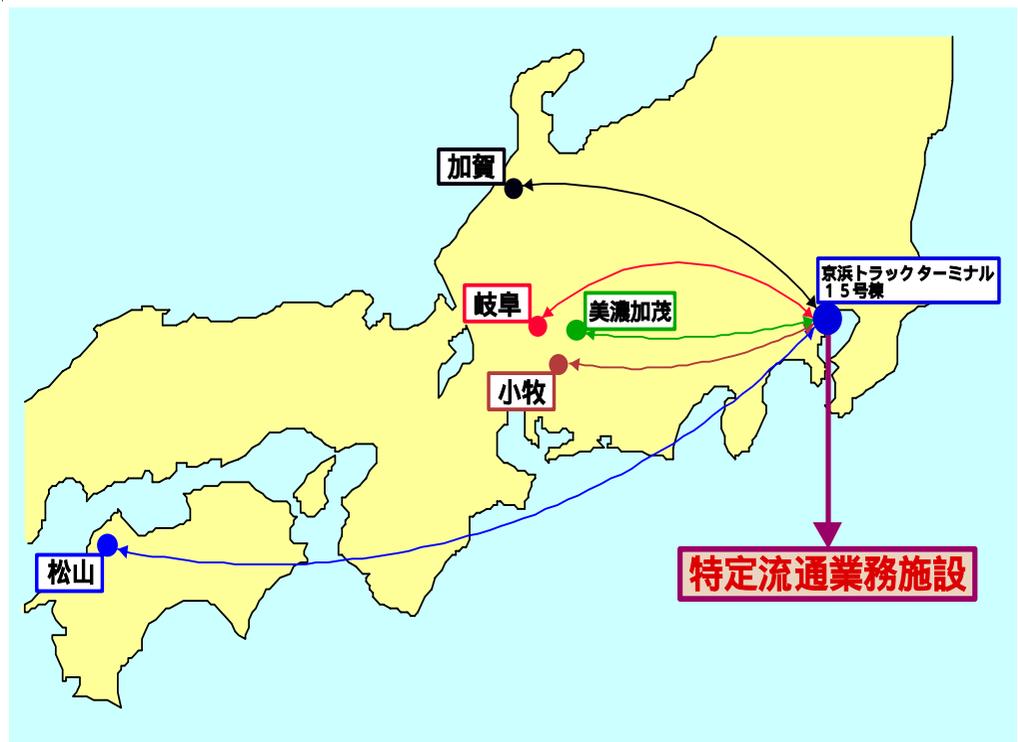
現行



(現行の物流による課題)

- ・仕入先からの輸送は、2カ所の物流拠点に別々に輸送
- ・物流拠点が狭隘なために、2拠点で商品群毎に在庫管理
- ・2拠点間を運行し、商品を揃えてから納品

計画

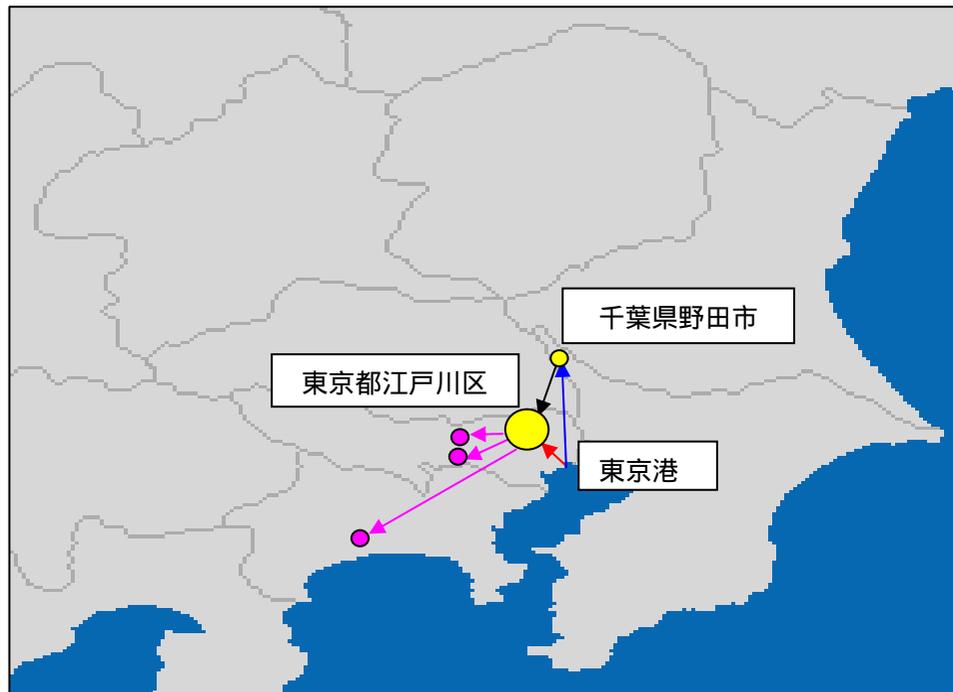


(総合効率化計画による効果)

- ・拠点の集約による輸送網の合理化
- ・商品の一括管理
- ・車両の大型化
- ・CO2削減(目標約33%)

安田倉庫(株)・安田運輸(株)  
総合効率化計画の概要

現行



(現行の物流による課題)

- ・オーバーフロー分を外部倉庫に保管
- ・納品にあたり流通加工のため外部倉庫から物流センターへ横持ちが発生

計画

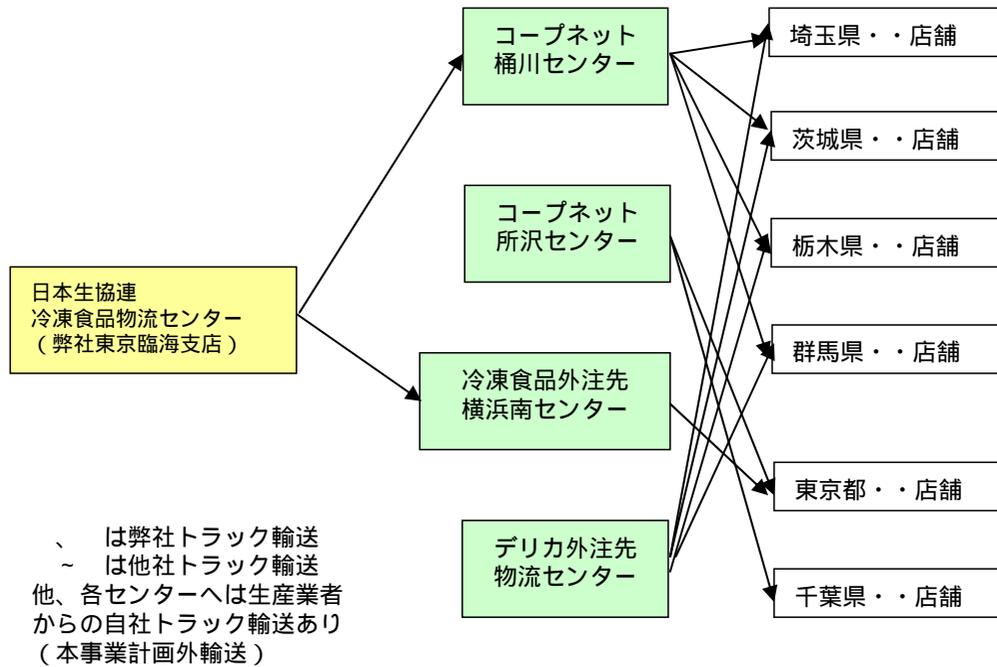


(総合効率化計画による効果)

- ・外部倉庫の解消
  - ・横持ちの解消
  - ・CO2削減(目標約57%)
- } 輸送網の合理化

# (株)ヒューテックノオリン 総合効率化計画の概要

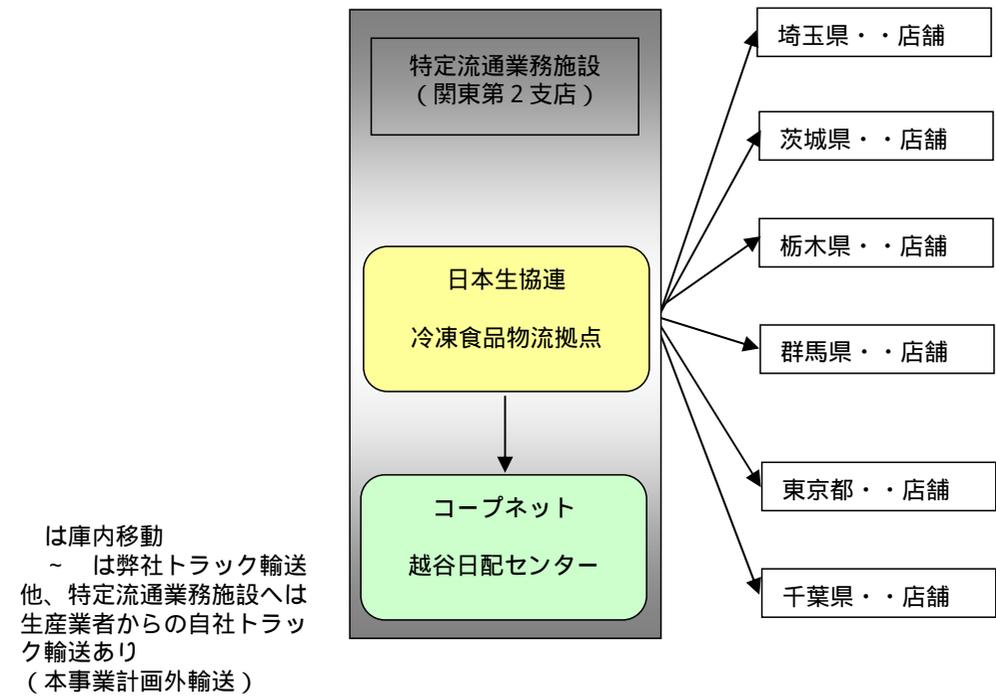
## 現行



### (現行の物流による課題)

- ・点在する物流拠点
- ・店舗地域・商品群毎の在庫管理
- ・錯綜した輸送網

## 計画



### (総合効率化計画による効果)

- ・商品の一括管理
- ・輸送網の合理化
- ・積載率の向上
- ・CO2削減(目標約18%)

# (株)第二西北紙流通デポ・(株)竹尾・宝運送(株) 総合効率化計画の概要

総合効率化事業者  
 (株)竹尾(荷主)  
 (株)第二西北紙流通デポ(物流事業者)  
 宝運送(株)(物流事業者)  
 取扱品目  
 紙、板紙、紙製品等

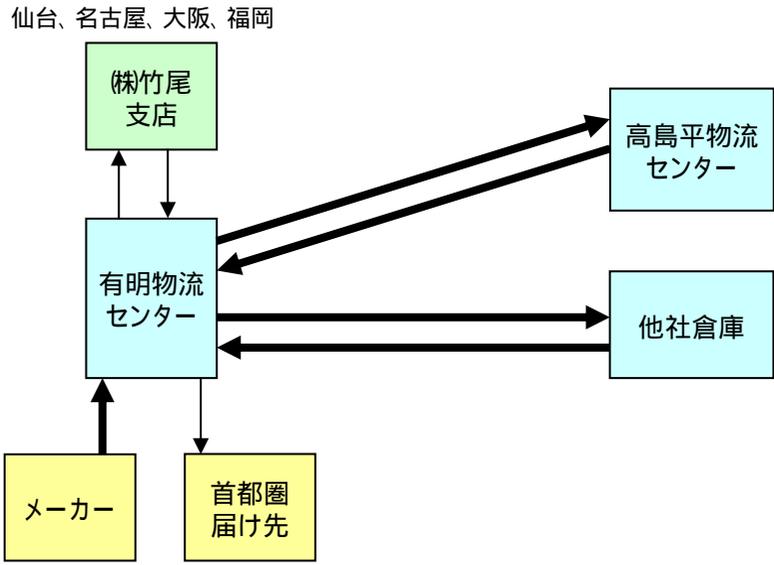
事業の目標  
 点在する拠点在庫の集約による2大拠点(湾岸、高島平)化  
 新拠点保管能力アップによる輸送の効率化

↓

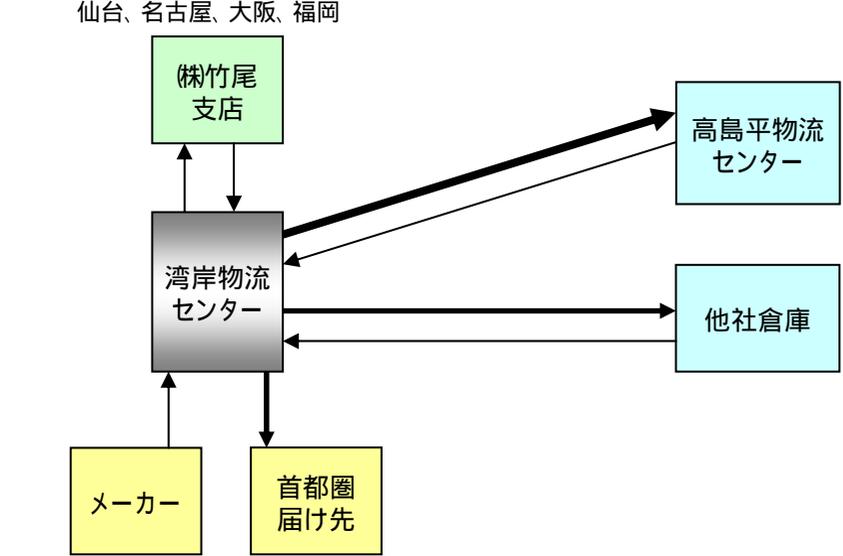
コスト削減  
 環境負荷の低減

特定流通業務施設の概要  
 (名称) (株)第二西北紙流通デポ  
 湾岸物流センター  
 (区分) 営業倉庫  
 (所在地) 東京都江東区若洲59番2号

## 現行



## 計画



**(現行の物流による課題)**  
 ・既存物流センターの保管量の限界

↓

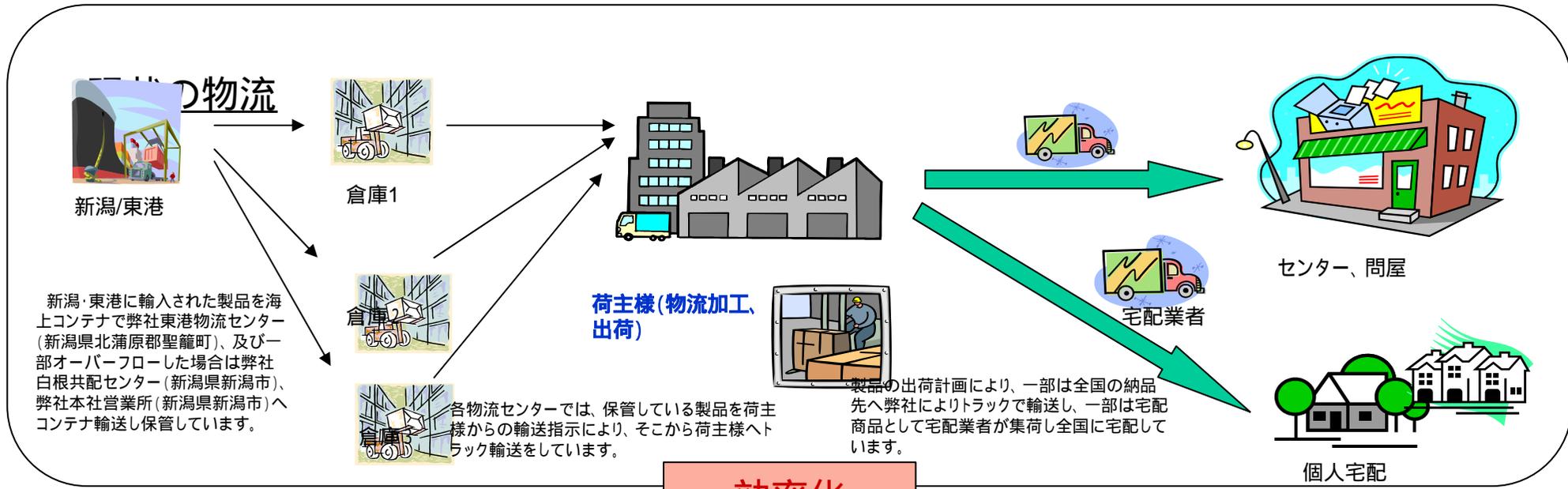
倉庫間移動の多発  
 在庫不足時のメーカーからの引取の多発  
 物流コストの増加

**(総合効率化計画による効果)**  
 ・湾岸物流センター(特定流通業務施設)の保管量拡大

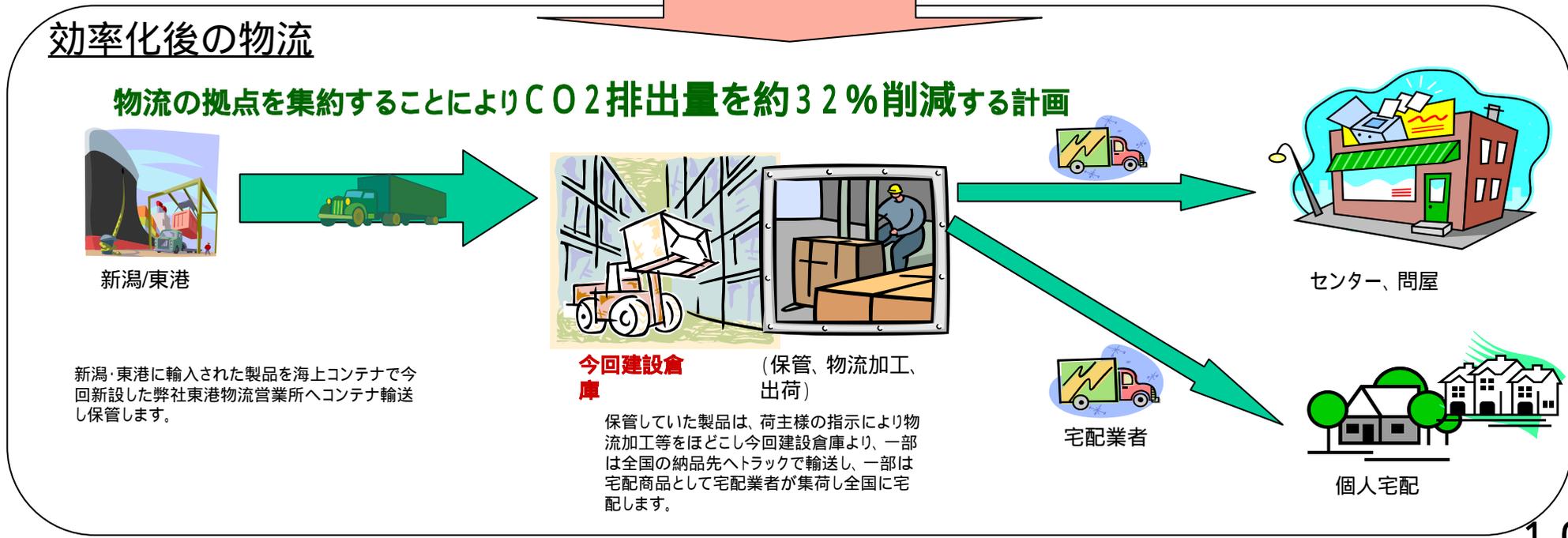
↓

倉庫間移動及びメーカーからの引取の減少  
 ・立地条件による千葉方面への配送効率化  
 ・物流コストの削減  
 ・CO2削減(目標約23%)

# 東部運送(株) 総合効率化計画の概要



効率化



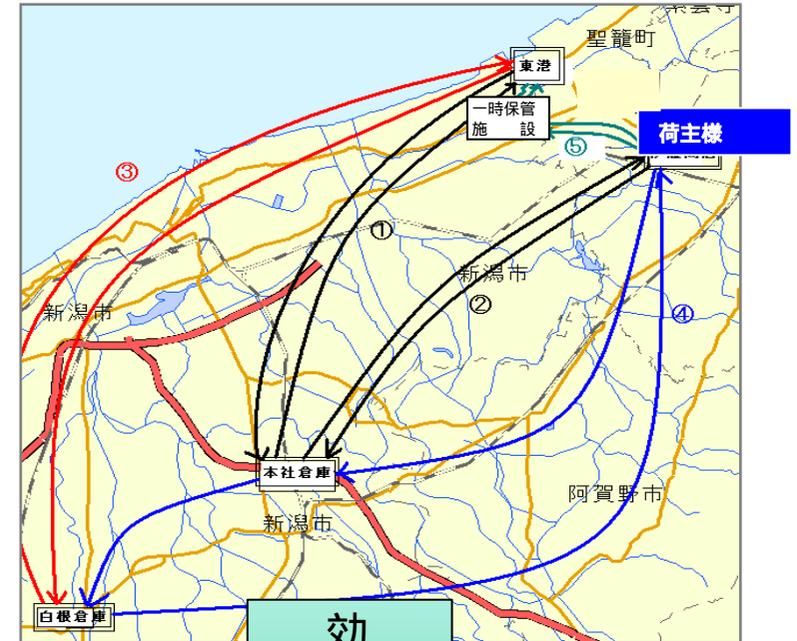
# 特定流通業務施設の概要

<施設概要>

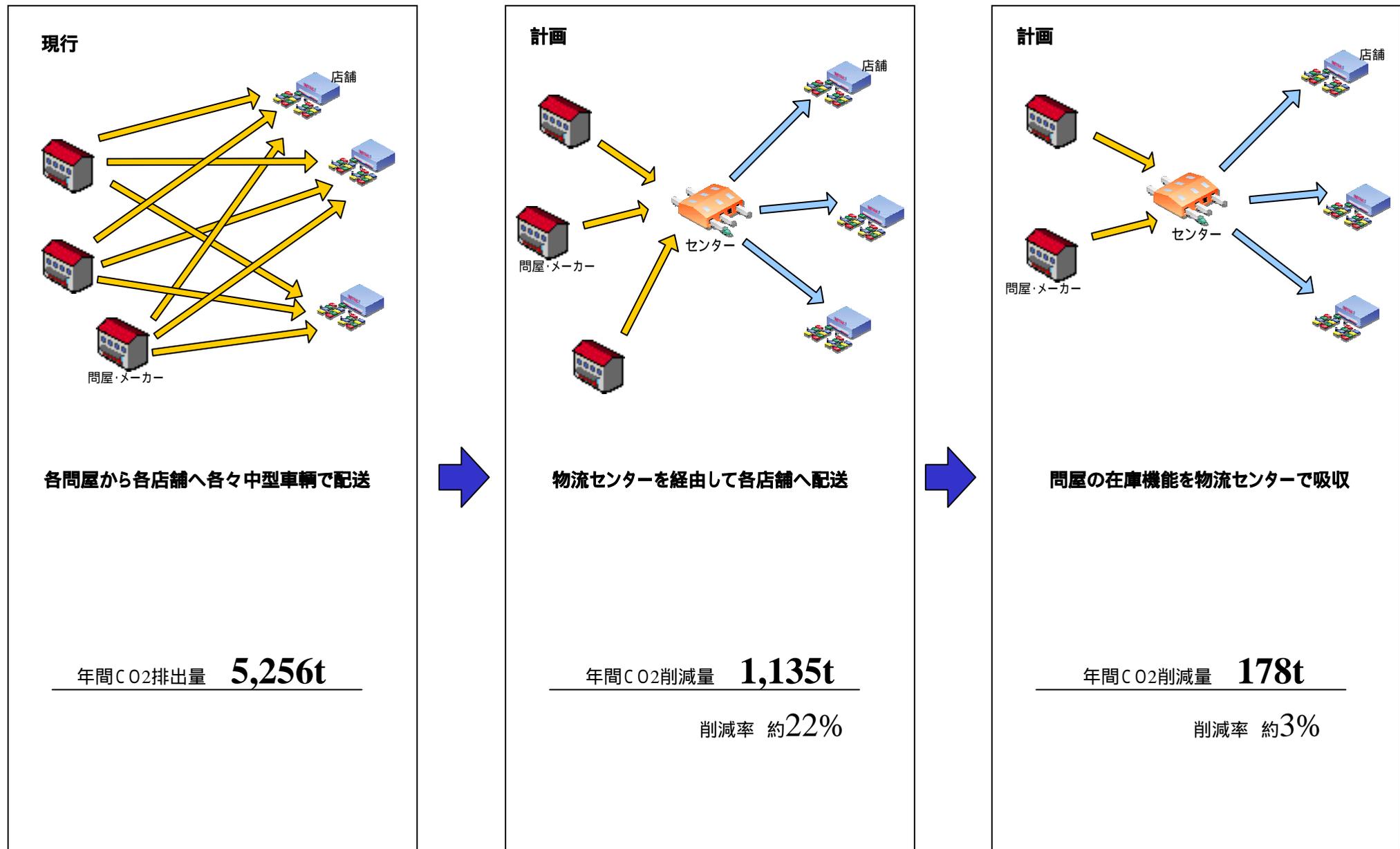
- 1. 名称・所在地 東部運送株式会社 東港物流営業所  
新潟県北蒲原郡聖籠町東港5丁目1923番地-1  
(日本海東北自動車道聖籠新発田インターチェンジから約4.5km)
- 2. 構造・規模 鉄骨造・1階建  
延床面積6,949㎡, うち倉庫面積4,642㎡(1,406坪)
- 3. 設備の特徴 電動式密集棚装置
- 4. 情報システム概要 受発注管理システム、宅配着荷管理システム、  
貨物保管場所管理システム、  
データ交換システム、入出庫・在庫管理システム
- 5. 竣工予定 2006年4月
- 6. 業務内容 通関業務、倉庫業務、運送業務



完成予想図

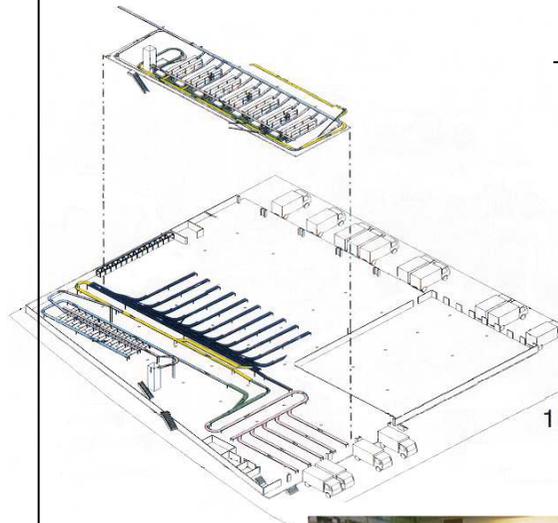


# 中越通運(株) 総合効率化計画の概要



## 施設概要

施設名称 : 中越通運新潟 A L C  
 地名地番 : 新潟市卸新町三丁目 6 3 - 1 5  
 新潟卸団地内  
 主要用途 : 配送センター・営業用倉庫  
 敷地面積 : 8436.4m<sup>2</sup> ( 2552.01坪 )  
 構造 : S造 2階建 ( 準耐火建築物 )  
 建築面積 : 4370.30m<sup>2</sup> ( 1322.01坪 )  
 床面積 : 1階 4472m<sup>2</sup> ( 1352.87坪 ) ( 庇除く )  
 2階 3990m<sup>2</sup> ( 1206.98坪 )



## 物流システム概要

1F  
 入荷ライン 5本  
 スライドシューター Max.6,000cs/hr  
 [100m/min搬送]  
 1次POR 24台  
 出荷ライン 11本+OFライン1本  
 M2F  
 ナローベルトシューター Max.3,100cs/hr  
 2次配分間口 364間口

1F  
 情報  
 物流EDI整備



## 外観



# 矢崎総業から申請された流通業務総合効率化計画の概要

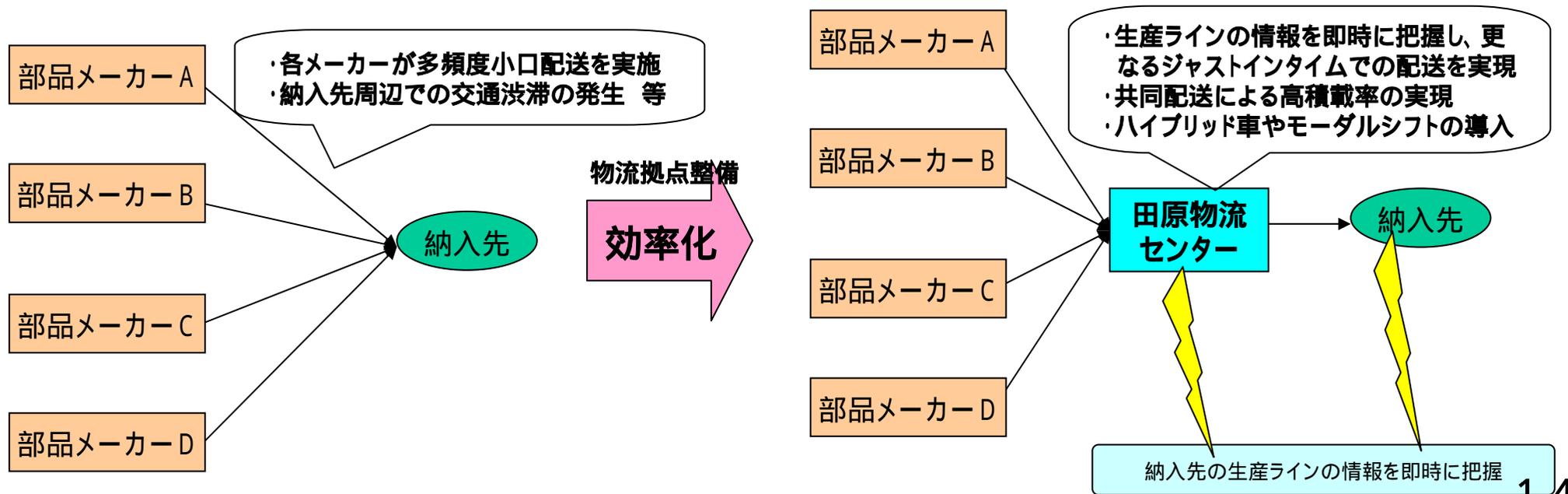
多頻度小口で納入先に配送している部品メーカーが、企業の壁を超えた共同配送、情報技術の活用、流通加工の実現、モーダルシフト、ハイブリッド車の導入等により、高積載率で更なるジャストインタイムでの輸送を実現し、物流の効率化及び環境負荷の低減を図る。

(荷主) 矢崎総業

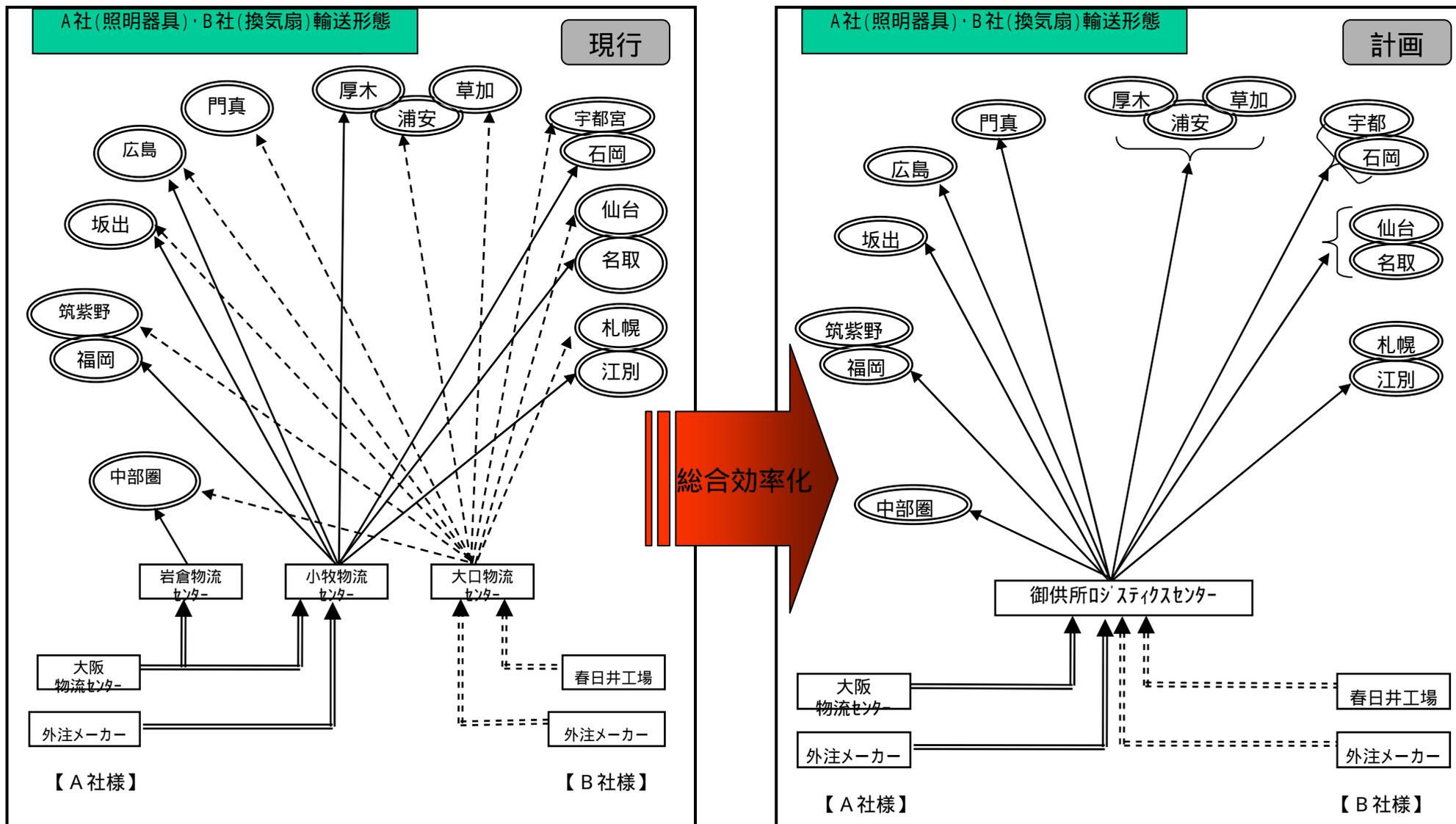
(物流事業者) 翔運輸

- ・ 矢崎総業が物流拠点を整備し、部品メーカーの壁を超えた共同配送を実現
- ・ 積載率が低下することが多いジャストインタイムでの配送について、共同配送により積載率を向上
- ・ 整備した物流拠点から納入先への更なるジャストインタイムでの配送に対応すべく、ハイブリッド車を導入
- ・ その他、モーダルシフトや流通加工の実現などを実施

大幅な物流の効率化とともに、CO2排出量にして約24%削減を図り、環境負荷の低減を実現



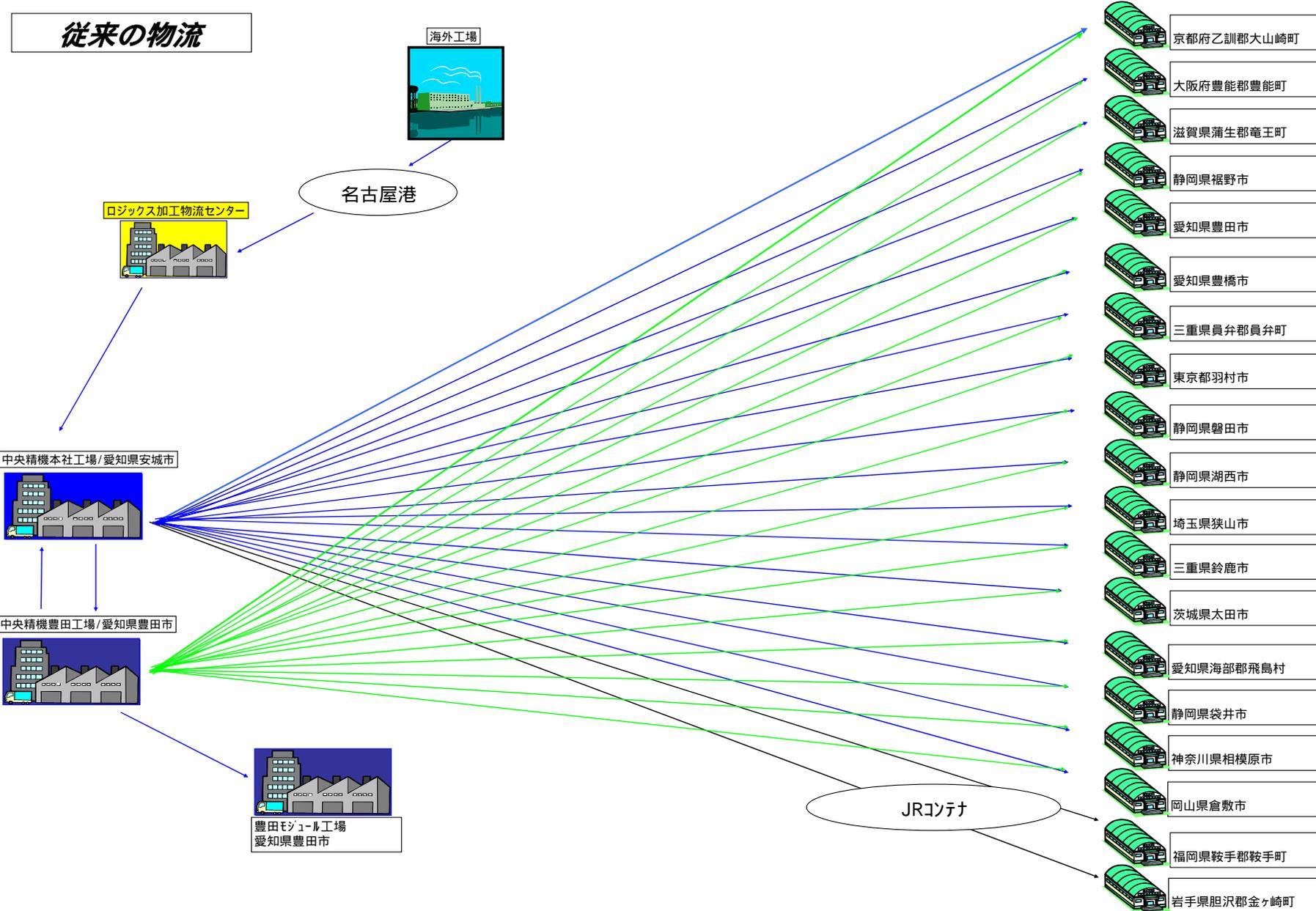
## 福玉（株）・三ツ井運輸（株）による総合効率化計画



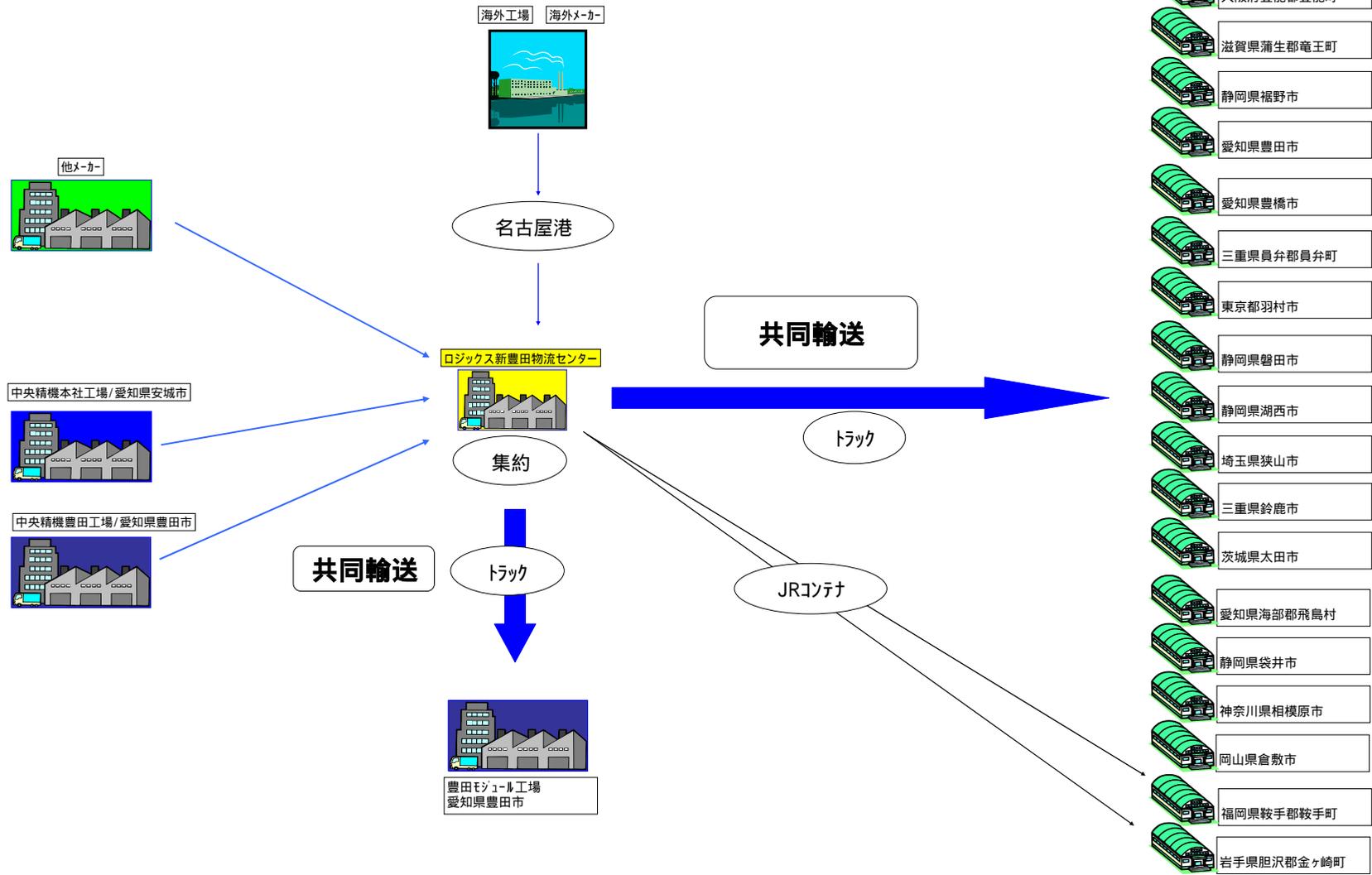
A社の製品は、全国配送と中部圏配送を分割し、愛知県内の2拠点に入庫し、全国7拠点へトラック輸送を行っている。  
 B社の製品は、工場での製造 物流センターを経由し、全国10拠点へトラック輸送を行っている。

福玉(株)は、新たに特定流通業務施設を建設し、各物流センターで扱っていた製品を一括管理。  
 一貫輸送体制の確立により、車両台数の削減、輸送距離の短縮を実現し、CO2削減を図るものである。

# (株)ロジックス・小出運送(株)による総合効率化計画

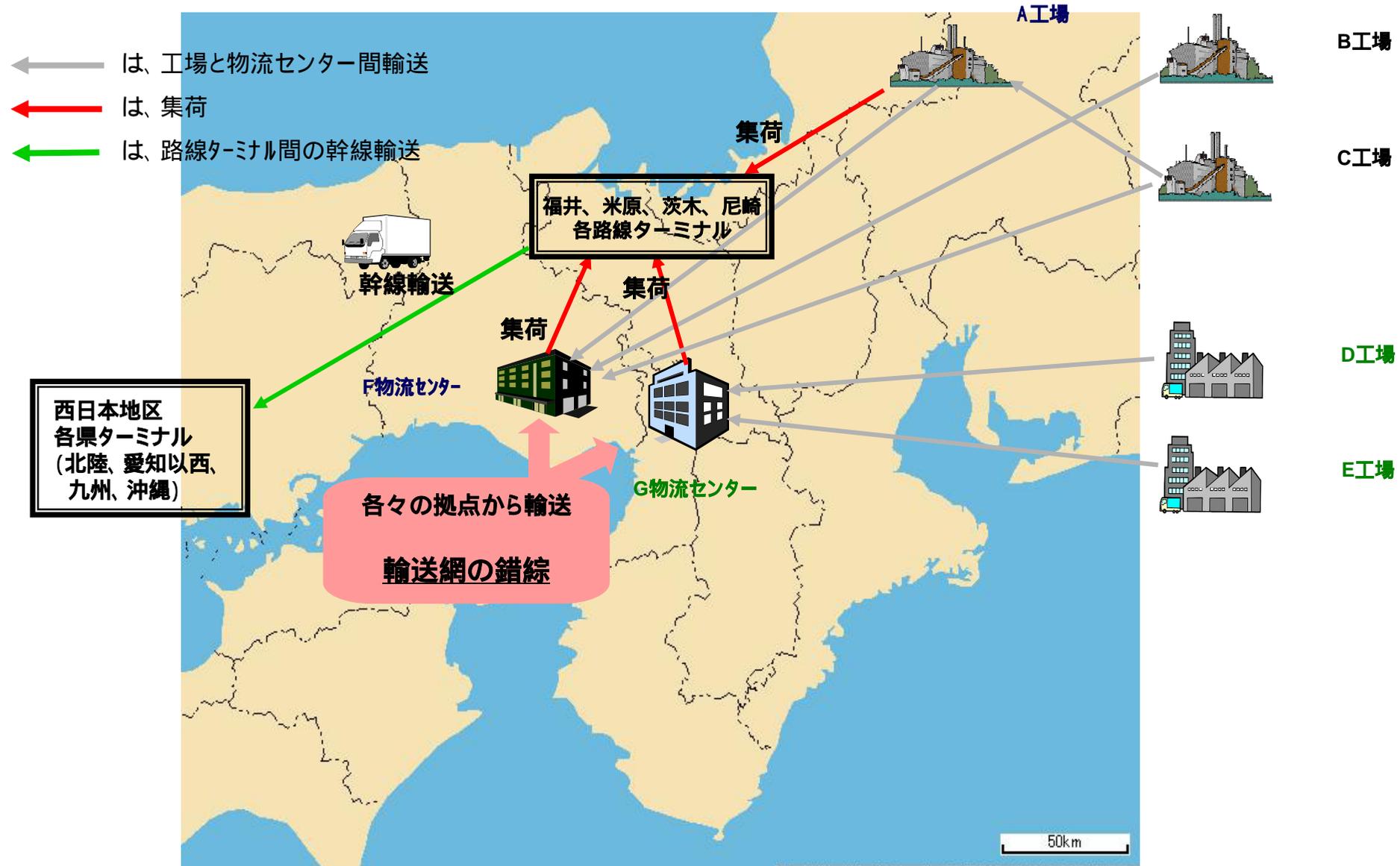


**提案 物流**

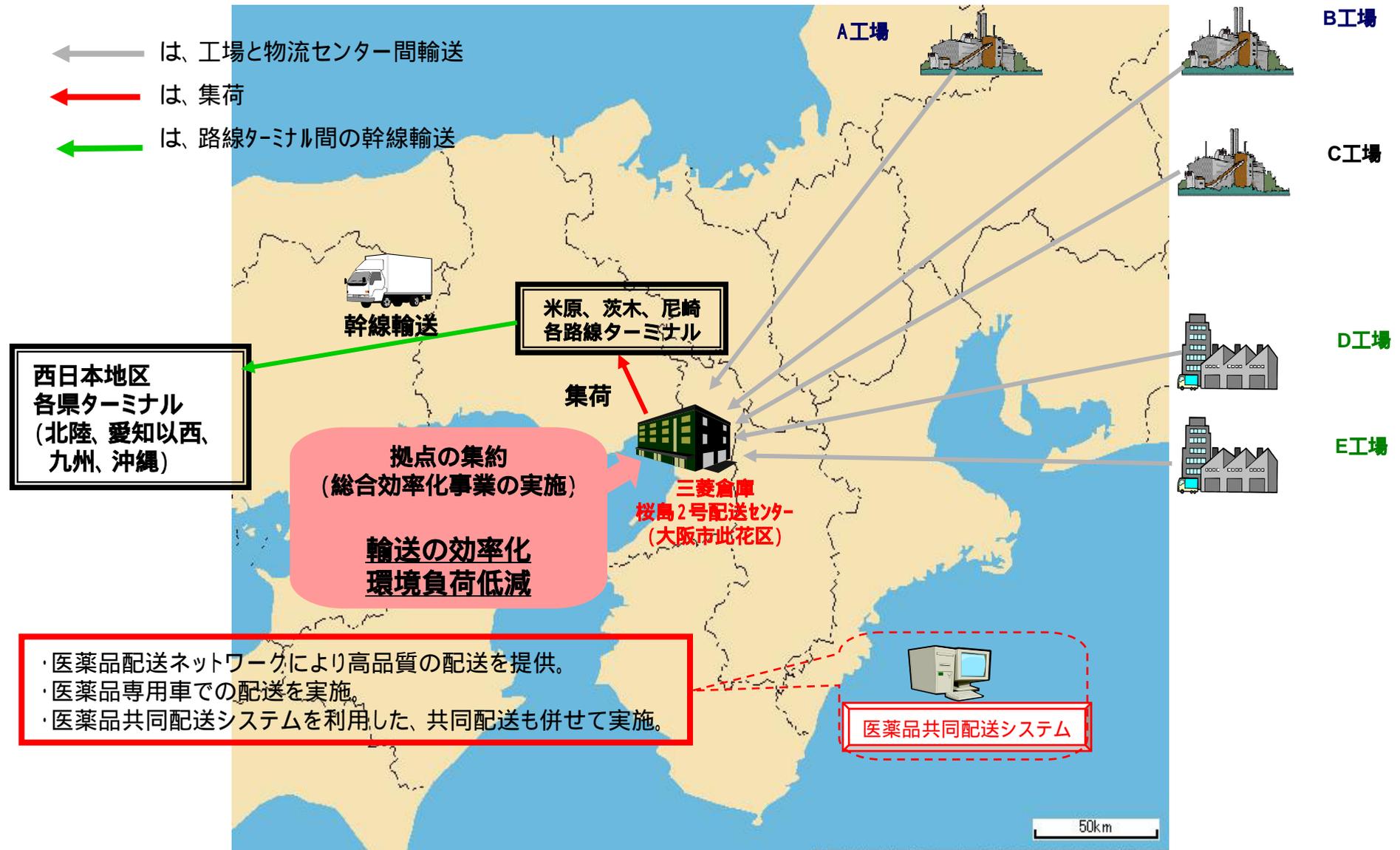


三菱倉庫(株)・菱倉運輸(株)による総合効率化計画概略図 (現行)

別紙

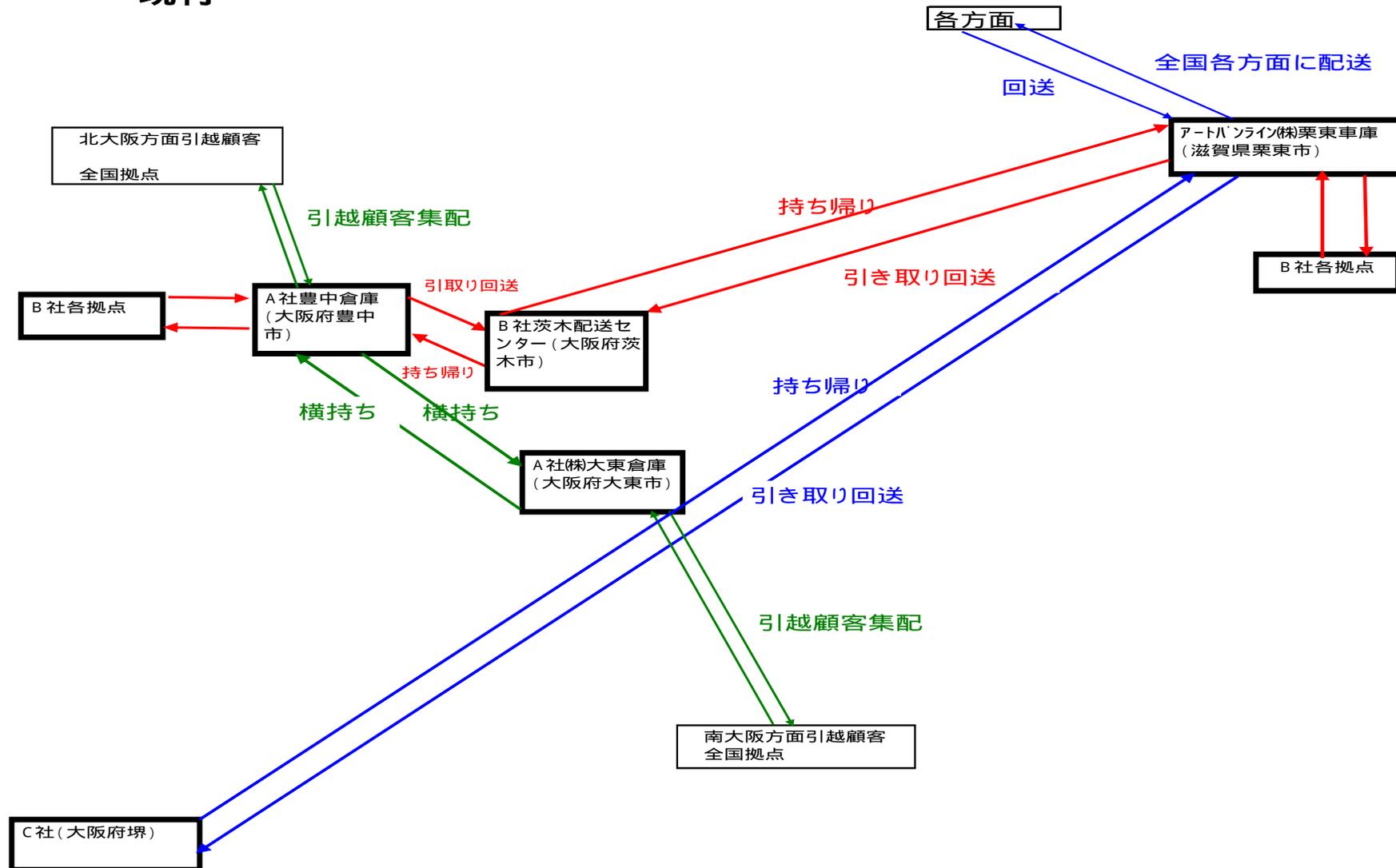


# 総合効率化計画概略図 (新体制)

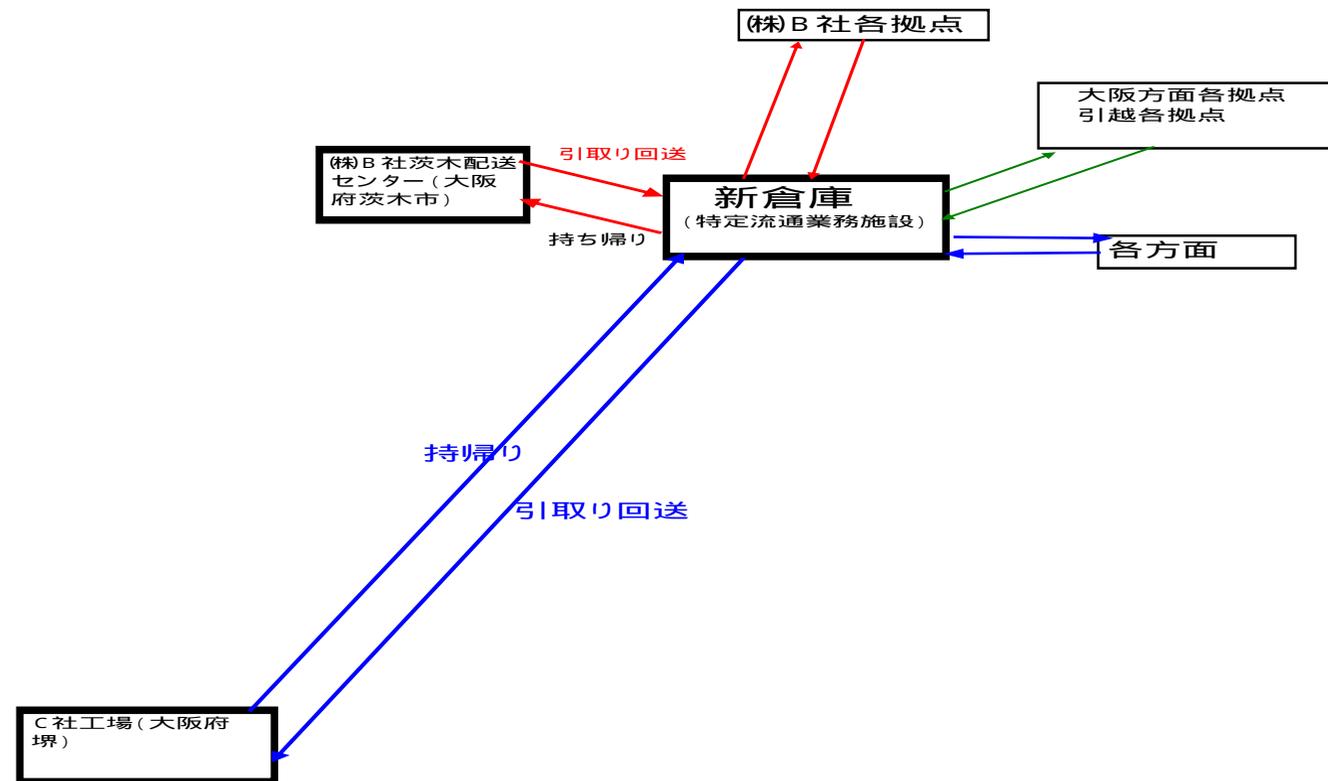


# アートバンライン(株)の総合効率化計画

## 現行



# 計画



# 三井倉庫(株)・(株)サン・トランスポートの総合効率化計画

[参考資料]

A社

現行

入庫業務

- 1. 大阪港 A社倉庫(岸和田市)
- 2. A社倉庫(岸和田) 各6拠点(岸和田市内)

出庫業務

- 3. 各6拠点(岸和田市内) A社倉庫(岸和田)

配送業務

- 4. A社倉庫 群馬県太田市
- 5. A社倉庫 広島県広島市
- 6. A社倉庫 東京都
- 7. A社倉庫 関西地区
- 8. A社倉庫 その他

B社

現行

入庫業務

- 1. B社近畿管理センター(吹田市)
- 土佐堀事務所(大阪市)

倉移

- 2. 土佐堀事務所 宇治田原  
関覧横持
- 3. 宇治田原 土佐堀事務所  
廃棄処理横持
- 4. 宇治田原 土佐堀事務所

計画

入庫業務

- 1. 大阪港 北大阪事務所(摂津市)

配送業務

- 2. 北大阪事務所 群馬県太田市
- 3. 北大阪事務所 広島県広島市
- 4. 北大阪事務所 東京都
- 5. 北大阪事務所 関西地区
- 6. 北大阪事務所 その他

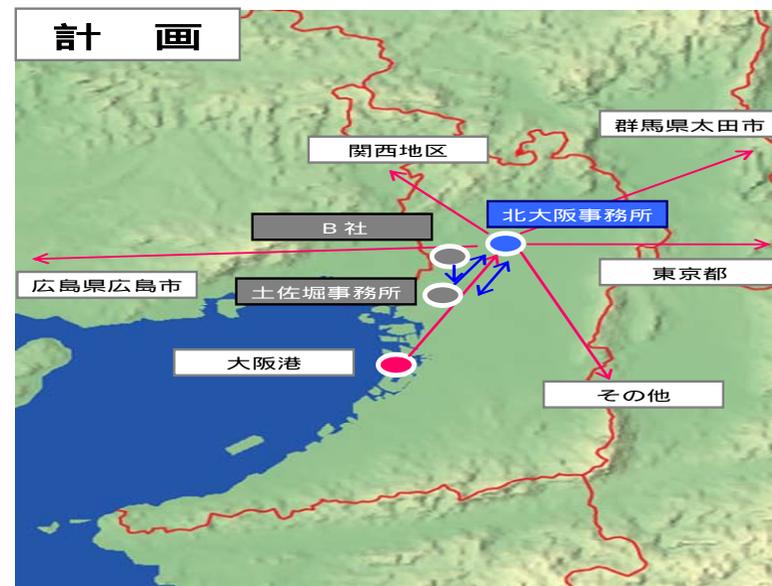
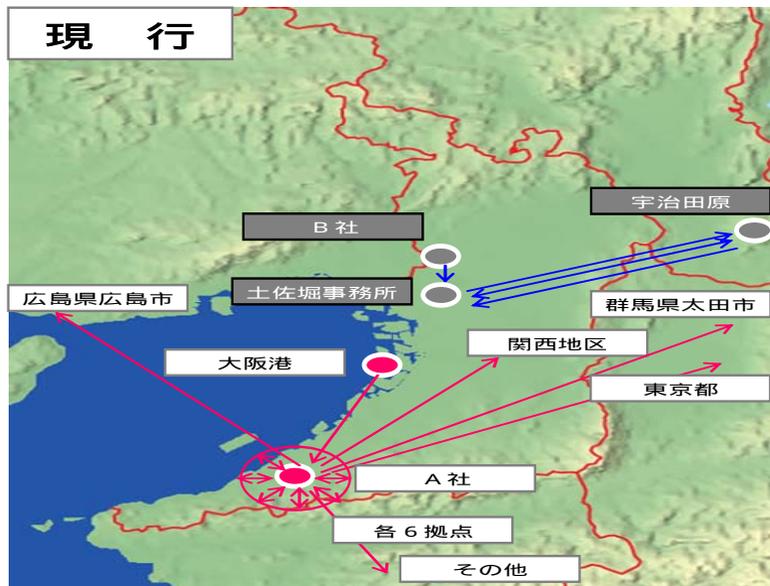
計画

入庫業務

- 1. B社近畿管理センター(吹田市)
- 土佐堀事務所(大阪市)

倉移

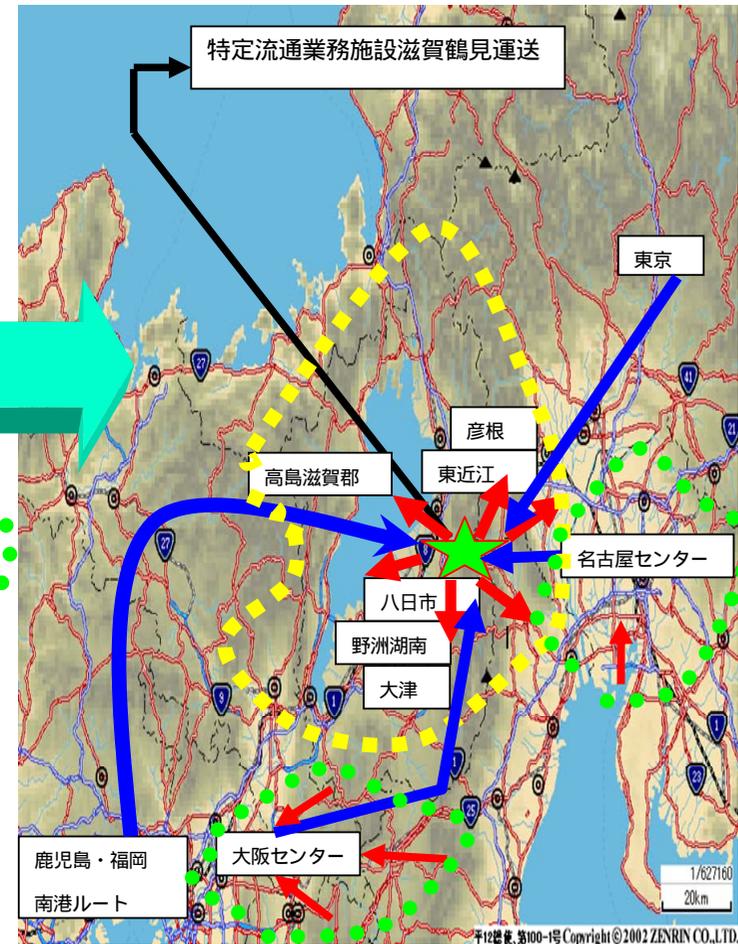
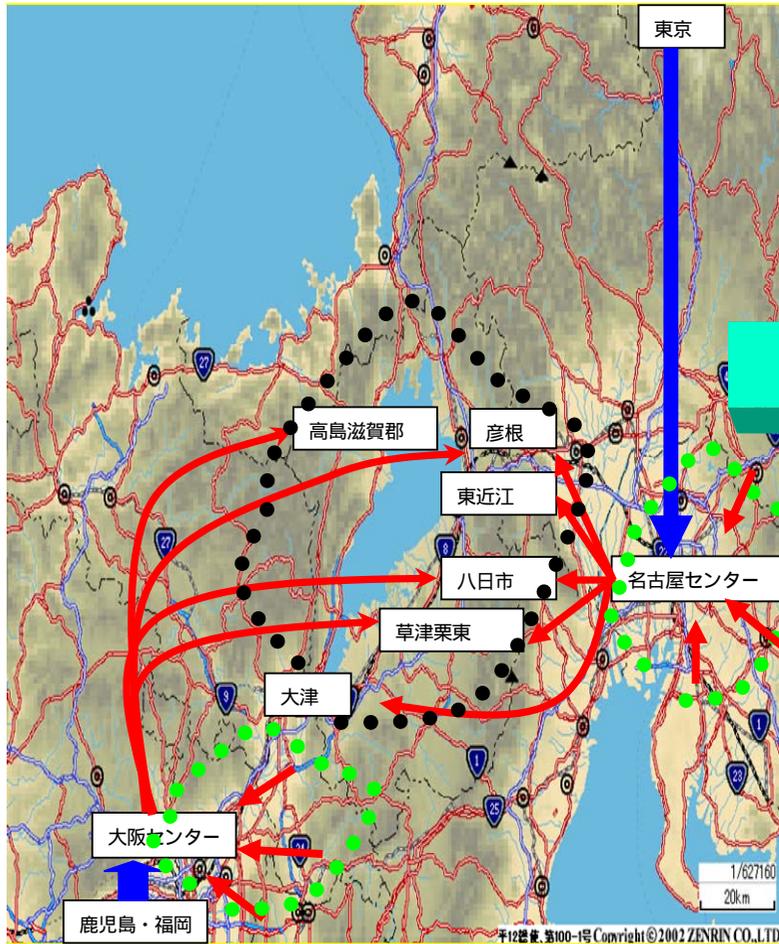
- 2. 土佐堀事務所 北大阪事務所  
関覧横持
- 3. 北大阪事務所 土佐堀事務所  
廃棄処理横持  
北大阪事務所にて処理



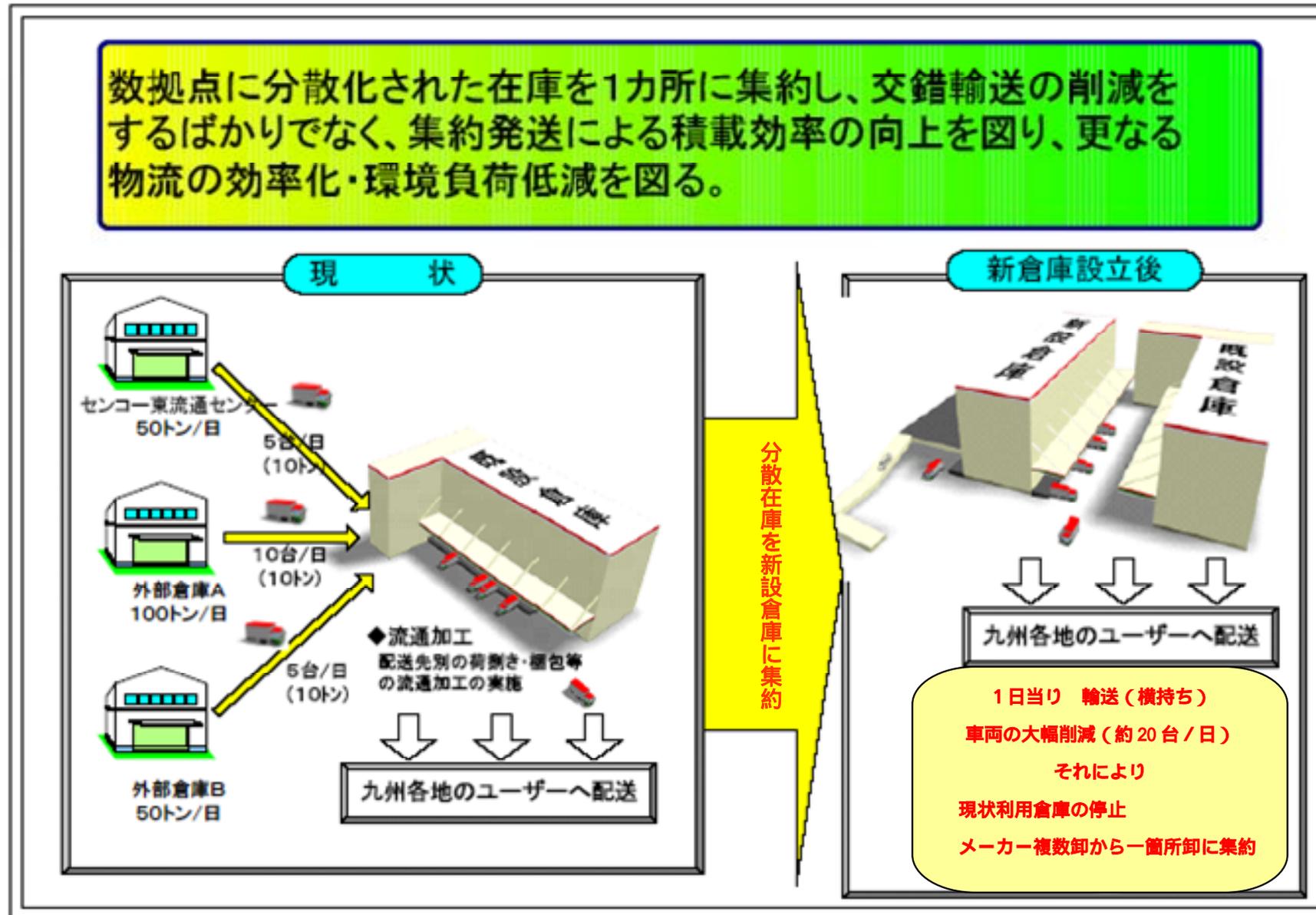
(有)滋賀鶴見運送の総合効率化計画

現行

計画

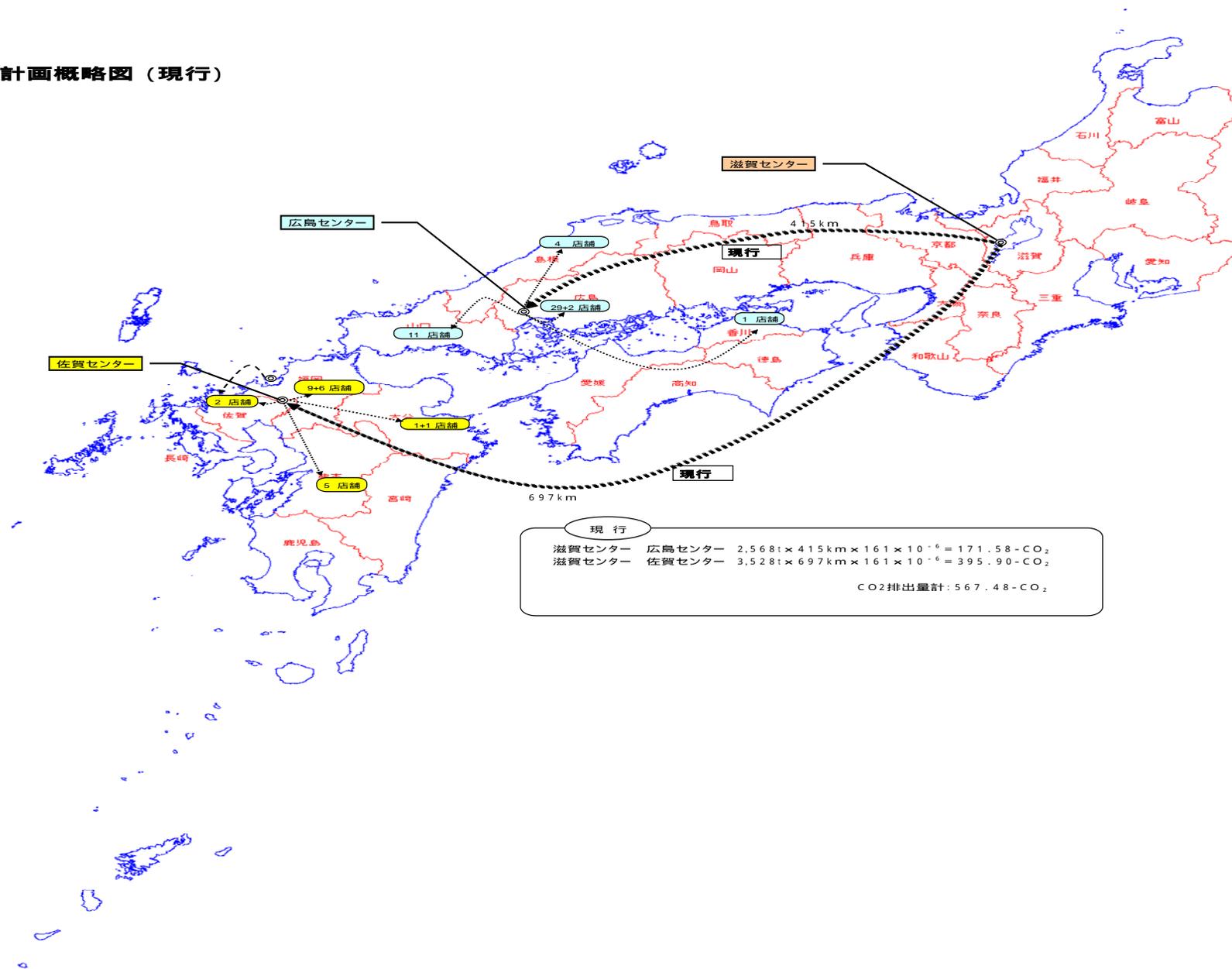


## センコー（株）の総合効率化計画のイメージ図



(株)九州丸和ロジスティクス・(株)キョーワ 総合効率化計画

別紙  
総合効率化計画概略図（現行）



別紙  
総合効率化計画概略図（計画）

